

下寺尾西方遺跡 国史跡指定記念シンポジウム

# 「重なる史跡～多様化する史跡～」

記念講演 佐藤 信（東京大学名誉教授）

記念講演 禰宜田 佳男（大阪府立弥生文化博物館館長）



現代 茅ヶ崎市下寺尾



約 1300 年前 古代 高座郡家



約 2100 年前 弥生時代 環濠集落

日 時 2019年9月1日(日)

10時～16時50分(9時30分開場)

場 所 茅ヶ崎市役所分庁舎6階 コミュニティホール

定 員 200名(入場無料・先着順・申し込み不要)

主 催 茅ヶ崎市教育委員会

問合せ 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課 電話 0467-82-1111

## ■シンポジウムの目的

- ①『下寺尾西方遺跡』の弥生時代環濠集落が、新たに国史跡として指定されたことを広く知っていただくとともに、同じ場所で『下寺尾西方遺跡』と『下寺尾官衙遺跡群』という時代の異なる遺跡が国史跡として指定された事例は全国でも少ないことから、「重なる史跡」について考える機会とします。
- ②「重なる史跡」は、同じ場所に時代が異なる遺跡が存在する複合遺跡であり、この複合遺跡がその土地に刻まれた歴史を示していることを知って頂き、「重なる史跡」をどのように保存し、整備活用していくかを考える機会とします。
- ③史跡は遺跡としての評価のほかにもさまざまな要素も有しており、新たに評価が加わってくるものもあります。茅ヶ崎市では史跡に加え天然記念物としての評価を受けた、二重指定の『旧相模川橋脚』が存在していることから、こうした「史跡のもつ多様性」についても触れ、その評価と保存活用に対する考え方を議論していく機会とします。
- ④こうした文化財が、地域にとっても欠くことのできない遺産であることを知ってもらい、継承に向けての動きを目指す機会とします。

## ■タイムスケジュール(令和元年9月1日)

- 9:30 開場
- 10:00~10:10 開催のあいさつ
- 10:10~10:30 趣旨説明・下寺尾遺跡群の概要
- 10:30~10:40 休憩・準備
- 10:40~12:00 記念講演1 仮題「土地に刻まれた歴史を知る」  
講師 佐藤 信先生
- 12:00~13:00 休憩・昼食
- 13:00~14:20 記念講演2 仮題「多様化する史跡の保存活用」  
講師 禰宜田佳男先生
- 14:20~14:30 休憩・準備
- 14:30~16:45 シンポジウム「重なる史跡 ～多様化する史跡～」
- 14:30~14:45 事例発表1 仮題「近世小田原城と中世庭園跡」  
発表 小田原市
- 14:45~15:00 事例発表2 仮題「鎌倉市建長寺庭園・円覚寺庭園」  
発表 鎌倉市教育委員会
- 15:00~15:15 事例発表3 「旧相模川橋脚」  
発表 茅ヶ崎市教育委員会
- 15:15~16:45 討論  
パネリスト 佐藤 信氏  
禰宜田佳男氏  
小田原市  
鎌倉市  
進行 茅ヶ崎市教育委員会  
(総括)
- 16:45~16:50 閉会のあいさつ



[会場案内図]